

第51回仙北地域 少年防犯弁論大会

10月25日、仙北市民会館で第51回仙北地区少年防犯弁論大会（仙北地区少年保護育成委員会主催）が開催されました。これは、大会を通じて子どもたちの健全育成の推進を目的に、毎年行われています。



最優秀賞に輝いた倉橋さん

当日は、市内5中学校から代表8人が出場し、最近報道されている事件や事故、自分自身の体験や考えていること、伝えたいことなどを5分の持ち時間で発表しました。

審査の結果、「やさしい社会に」という演題で発表した倉橋保奈実さん（生保内中学校・3年）が、最優秀賞に選ばれました。倉橋さんは、夏休みに老人ホームで奉仕活動をしたときの体験を踏まえ、お年寄りの立場での意見、いつも生活をしている中学生の立場の意見を交えた内容で、力強く発表しました。

角館町西長野出身の鈴木繁さんが生の演奏を披露

11月1日、角館東小学校で角館町西長野出身の仙台フィルハーモニー管弦楽団オーボエ奏者・鈴木繁さんのコンサートが開催されました。

当日は、鈴木さんのオーボエやオカリナ、それにストローを使った音遊びや軽妙なトークを交えながら、同じく仙台フィルのヴァイオリン奏者・小池まどかさん、ギタリストの佐藤正隆さんが演奏を披露しました。また、語りべとしてフリーアナウンサーの渡辺祥子さんの「物語り」など盛りだくさんの構成で、約200人の生徒や保護者のみなさんを前に、1時間30分の楽しいコンサートを熱演していただきました。

鈴木さんからは「自分を育ててくれた故郷の子どもたちに、ご恩返しの意味で、これからも生の本当の音楽をお届けしたい」と語っていただきました。



プロの音楽を身近にできたコンサート

仙北市観光と物産展 「山の楽市」開催

11月10日から12日の3日間、横浜市の相模鉄道二俣川駅構内特設会場で、仙北市観光と物産展「山の楽市」と、「秋田せんぼく米っこまつり」を開催しました。

「山の楽市」は横浜～角館・田沢湖間を運行する夜行バス「レイクアンドポート号」が縁で、旧田沢湖町が平成7年から実施していたもので、11回目の開催となります。

冬の観光シーズンを目前にひかえ、物産展にさきがけて観光キャンペーンを実施し、仙北市の観光をPRしました。

物産展では、西明寺栗や樺細工、秋田を代表するきりたんぼ、稲庭うどんのほか、新鮮な秋野菜、特産品、地



大盛況の山の楽市

自然ふれあい温泉館等周辺エリアの愛称 「アルパこまくさ」に決定

田沢湖高原地区の国民宿舎駒草荘跡地11.3畝に、温泉による保養・休息機能を持つ「自然ふれあい温泉館」（仮称・旧田沢湖町、現仙北市主体）、駒ヶ岳の山岳情報などを提供する「駒ヶ岳情報センター」（仮称・秋田県主体）、火山観測情報などを提供する「火山防災ステーション」（仮称・国土交通省主体）の整備を進め、平成18年6月オープンを予定しています。建物は山小屋風の木造平屋造りになっています。

この自然ふれあい温泉館等周辺エリアの愛称を募集したところ、178点の応募がありました。その作品の中から最もふさわしいと思われる愛称を選考会で決定しました。

結果、秋田市の三浦恵子さんが応募した「アルパこまくさ」が選ばれました。

「アルパこまくさ」とは、山という意味の「アルペン」と温泉の「スパ」の造語です。「可憐なコマクサを始め、高山植物が数々咲き乱れる駒ヶ岳。豊かな自然がいつまでも身近に感じられる施設であってほしい」と、願いが込められている名称です。